

日光国立公園

豊かな自然、聖地の伝統と歴史を感じよう

日光国立公園は、1934年に指定された、日本で最初の国立公園の一つです。3つの県(Prefecture)にまたがる広大な公園で、東京都心から片道二時間の便利な立地にも関わらず、火山や高原、湖や温泉など、日本ならではの多様な自然を一度に味わうことができます。

豊かな自然に加えて、日光国立公園は歴史的、文化的、宗教的にも重要な意味を持ちます。域内には世界遺産にも認定されている東照宮や輪王寺、二荒山神社といった由緒ある寺社があり、皇室や外国大使たちとの深い繋がりでも知られています。日光を訪れば、日本の豊かな歴史に直にふれられるだけでなく、長きに渡り崇拜されて、守られてきた自然を感じる事ができるでしょう。

奥日光 自然と歴史の物語

歴史的社寺の奥には奥日光という壮大なスケールの自然が広がっています。古代の男体山の火山活動を通して、中禅寺湖や戦場ヶ原湿原などの自然が形作られ、(いまでは)バードウォッチングや多様な植物、見事な滝の数々で知られています。ここでは貴重かつ、畏怖に値する景色に触れることができます。男体山やその周辺地域は、宗教的崇拜を受けてきた歴史を持ち、神道に関連する、山々に対する信仰を示す「山岳信仰」の聖地と考えられ守られてきました。

明治時代(1868-1912)には、(その残された)奥日光とその自然は海外から来た外交官や日本在住の外国人を魅了しました。この地域は涼しい夏の気候と美しい景観で知られるようになります。その結果、中禅寺湖畔には外国人大使館別荘が建ち並びました。今日でも旅行者は旧イタリア大使館別荘と旧イギリス大使館別荘を訪れ、当時の活発な国際コミュニティについて学ぶことができます。

当時の面影をそのまま残した別荘の窓からは、中禅寺湖畔の美しい景色を、眺められます。その景観は、イギリス人外交官「アーネスト・サトウ」を始めとする、多くの人々の心を惹きつけてきました。奥日光は、観光やウォータースポーツ、旅行者レベルに合わせて行える登山まで、充実したアクティビティが楽しめます。また、バラエティ豊かな自然環境が、大型のシャモアまたはヤギのような「ニホンカモシカ」、「日本ザル」など、日本ならではの野生動物を育んでいます。

那須・塩原 心落ち着く散歩道

那須・塩原地域も、日光と同様に火山活動によって生まれた地域ですが、力強く心揺さぶる日光の自然とは違って変わって、高原・渓谷といった、のどかで心を洗うような清冽な自然が出迎えてくれます。

地形的には、那須はその眺めの良い山々や高原で、一方の塩原はその渓谷で知られています。どちらのエリアも真に美しい自然を誇り、春と夏にはツツジやユリや様々な野花が、秋には鮮やかな紅と黄金の紅葉が、冬にはパウダースノーが見られます。

茶臼岳は那須連山の主峰であり、活火山です。ロープウェイに乗り山を登ると、麓に緑豊かな渓谷や高地の素晴らしい景色が望めます。

また、那須は昭和天皇(1901-1989)が東京の夏の暑さを避けるため訪れた、お気に入りの避暑地でもありました。今でも皇室と関わり深く、平成(1989-)の天皇でいらっしゃる明仁天皇(1989-2019 今上天皇陛下)のご提案により、2011年には国立公園内に「那須平成の森」が開園されました。森の中には皇室の方々が休んだというあずま屋があり、旅行者も見学することができます。那須平成の森フィールドセンターでは歴史や森の自然や教育プログラムを提供し、緑豊かな手付かずの森でガイドツアーが行われます。

加えて、那須の土地は農地開拓が行われ、結果として美味しい野菜の栽培や酪農も行われています。実際この地域は、本州で最も酪農が盛んで、高品質な乳製品が生産する地域です。旅行者は那須の大自然の中で、新鮮で濃厚な味のミルクを楽しむことができます。このような経験が、(訪れる人の)五感を楽しませてくれることでしょう。

塩原地域を訪れたら、塩原温泉でぜひ箒川渓谷を散策してみてください。とくに紅葉の季節は渓谷の川沿いで紅葉が赤いカーテンのように色づき、色彩の波が押し寄せます。塩原の自然は日本の文豪たちの創作心も刺激してきました。特に『こころ』や『我輩は猫である』で有名な小説家、夏目漱石(1867-1916)が、他の著名な作家を連れてこの地の温泉宿に逗留したことはよく知られています。今日でもこの地を訪れる人は、彼らの足跡を辿り、自然に囲まれた温泉街で想像力を刺激する経験ができます。

「那須・塩原地域」は、板室の温泉地、鮮やかなツツジで知られる八方ヶ原高原なども含んでいます。広大であるため、この地域を訪れすべての自然体験を行おうとするのであれば、数日間の滞在をオススメします。

鬼怒川地域 自然と癒やしの温泉

鬼怒川地域は、四方を女峰山、鬼怒沼山などの壮大な山々に囲まれた地域で、そういった山地を鬼怒川、湯西川などの川が侵食することで見事な溪谷を形作っています。浸食ではぐまれた力強い岩肌に囲まれながらのライン下りは、あなたをスリリングな気持ちにさせるでしょう。

鬼怒川地域の山間には鬼怒川温泉、湯西川温泉、川俣温泉、川治温泉といった温泉地が点在しています。このような温泉地では古い伝説が残り、それにまつわる文化も旅行者を楽しませてくれることでしょう。

特に6月の「平家大祭」はおすすめです。これは、平安時代(794年-1185年)の後期に日本で勢力を誇った、「平家一門」にまつわる大きなお祭りで、侍衣装の人々による行列や、太鼓、琵琶(日本のリュート)、その他の演舞が行われます。その他、冬季の「かまくら祭り」も、この地域でまた異なった楽しみとなっています。